

互いを尊重し、多様性への理解を深めていく 「ユニバーサルデザイン」の まちづくり

障がい者スポーツの普及・振興に取り組んできた築上町では「Leave No One Behind 誰一人として取り残さない」をテーマに掲げ、東京2020パラリンピック関連事業などを実施。令和元年8月には町として全国初となる「共生社会ホストタウン」に登録されました。

これから更にユニバーサルデザインのまちづくり、心のバリアフリーに向けた歩みを進めていきます。

共生社会 ホストタウン



東京2020 オリンピック・パラリンピック・聖火リレー

一瞬を
一生の記憶に

事前キャンプの受け入れや聖火リレールート決定を記念し、町民の顔写真でぎざぎざのぼろを描いた「築上2020」ポスターを作製するなど、町の皆さんが一体となり楽しめるような活動に取り組んでいます。



スポーツを通して まちを元気に！

築上町に移り住んで約25年がたちますが、今までの恩返しができればという想いで活動しています。東京2020オリンピックの聖火が築上町を通るということで、町全体が盛り上がり、私自身とても楽しみです。スポーツは、子どもから大人まで誰もが気軽に楽しみながら取り組みます。そのことを少しでも多くの町民の方々にお伝えできるよう、スポーツ推進委員一丸となって、これからも一生懸命活動していきます。



築上町スポーツ推進委員会
熊谷博明さん

国際交流も盛ん

中国との小学校姉妹校交流など世界に目を向けた取り組みを行ってきた築上町では、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に際し、オセアニア島10国のホストタウンに登録されたことを契機に国際交流をさらに活発化。海外青年招致事業（JETプログラム）によるオセアニア地域からの国際交流員の任用や、町内中学生のグアムへの海外派遣事業参加など、世界とつながり、人と文化が交流するまちづくりを進めています。



誰もがスポーツを 体験できる場づくり

スポーツを通じた交流が盛んな築上町。さまざまな競技会や体験会が町内各地で行われる「築上町ふれあいスポーツフェスティバル」や、障がいがある方を対象としたマリンスポーツ体験や水泳教室など、誰もがスポーツを楽しめる場づくりに取り組んでいます。B&G海洋センター事業では、水の事故防止を目的とした「水辺の安全教室」や、カヌー、ローボート競技が体験できる「築上町海洋クラブ」の取り組みなど、安全に楽しく水に慣れ親しむ機会を提供しています。

総合型地域スポーツクラブのNPO法人しいだコミュニティ倶楽部では、健康ダンスやソフトテニス、カラオケなど多目的の教室を開催し、さまざまな世代の人がスポーツ・文化活動を通して交流し、健康づくり、明るい地域づくりに貢献しています。



スポーツに携わる各種団体と協力して、気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションを展開しています。



スポーツで 輝くまちへ

人々に勇気を与え、まちに元気を与えるスポーツの多様な可能性。心と体の成長にみんなが取り組んでいます。



小学校のプールで実施した「水辺の安全教室」では、児童たちが着衣水泳などを通して安全に水に親しむ方法を学びます。



緑の芝が広がるパークゴルフ場は、町内だけでなく都市部からの来場者も多い施設。用具の貸し出しもあり気軽に利用できます。



「障がい者マリンスポーツ体験教室」では専門指導員のもとカヌーや救助艇への乗艇など、参加者は水に親しみスポーツの楽しさを体験します。